

森づくり最前線

磐城森林管理署 三坂森林事務所 森林官 佐藤 桂太



皆伐地の風景

私の勤務する三坂森林事務所は、福島県浜通り南西部に位置するいわき市三和町の国有林約 3,200ha を管轄しております。

三和町は森林面積が約 13,000ha あり、森林率は 84% と高く、住宅地以外は山林の割合がほとんどを占めています。

三坂森林事務所は磐城森林管理署管内でも大きくありませんが、人工林面積が 2,500ha と、森林面積の約 80% と高いことに加え、比較的傾斜のきつい林地が少ないため、さかんに森林施業が行われています。管内の人工林は全国的な傾向と同様に主伐期を迎えた林地が多く、直近の 3 年間では、皆伐再造林を行った面積が 100ha を超えています。一方で、気候変動による豪雨等の増加に伴い山地災害が激甚

化していることを踏まえ、伐採区域を分けた施業や作業道の適切な作設など、林地保存に配慮した森林整備が重要となっています。

日頃の業務においても、大面積皆伐を避けた伐採区域の設定や、伐採計画箇所が適切かどうか、林地保全を意識しながらの管理を行っています。伐採区域の設定など現場業務を行う際には、位置情報アプリを活用しています。現在地の取得はもちろん、写真管理や歩いた軌跡の取得、周辺林地の情報を確認することが出来ます。地図を読むことが苦手な私でも、確認したい林地まで迷うことなくたどり着くことが出来るため、手放せないアイテムの一つです。

また昨年度から、各自のスマートフォンで使用可能な位置情報アプリやドローンなどの ICT 技術を活用したスマート林業の推進を目的とした事業体向けの学習会を開催しています。手軽に取組を始められる技術の紹介やその基本操作の説明を行い、スマート林業に触れてもらおうといった取り組みです。ICT 技術が発展していく中で、林業においても現場作業の生産性向上や安全性向上のためスマート林業が普及することに期待しています。

現場に近いから聞こえてくる地域の声や林業事業体の声に耳を傾け、よりよい森づくりに貢献していきたいと思えます。



ICT 学習会の様子



現地でスマホ操作を実演する筆者